

水と緑の森づくり事業評価（案）

資料1 - 1

事業名	里山再生整備事業	実施額	8千5百万円
事業目的	地域ニーズに応じた里山の再生整備を県民共同で推進する		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施面積 366 ha</li> <li>・ 実施地区数 44 地区（14 市町）</li> </ul>		
	評価のポイント	評価対象	里山林整備の実施面積
評価	評価方法	計画面積に対する進捗状況进行评估	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度末累計整備面積 : 1,000 ha</li> <li>・ 平成19年度計画整備面積 : 200 ha</li> </ul> <p>平成19年度の計画整備面積200haに対し、366haを整備し、達成した。</p>		
達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成			
事業名	みどりの森再生事業	実施額	7千5百万円
事業目的	風雪被害林や過密人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導する		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施面積 61 ha（19地区、12市町） <ul style="list-style-type: none"> <li>風雪被害林整理 42.1 ha(11地区)</li> <li>過密人工林整理 19.3 ha(11地区)</li> </ul> </li> </ul>		
	評価のポイント	評価対象	混交林整備の実施面積
評価	評価方法	整備目標に対する進捗状況进行评估	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度末累計整備面積 : 1,000 ha <ul style="list-style-type: none"> <li>風雪被害林 250 ha</li> <li>過密人工林 750 ha</li> </ul> </li> <li>・ 平成19年度計画整備面積 : 70 ha <ul style="list-style-type: none"> <li>風雪被害林 64 ha</li> <li>過密人工林 6 ha</li> </ul> </li> </ul> <p>平成19年度の計画整備面積70haに対し、61haを整備し、ほぼ達成した。</p>		
達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成			

## 水と緑の森づくり事業評価（案）

事業名	とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	実施額	2千8百万円
事業目的	森林ボランティア等を総合的専門的に支援し、県民参加による森づくり活動を支援する		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サポートセンター登録団体数(H19年度末現在) : 43団体(2,903人)、11企業</li> <li>・ 県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 : 6,920人</li> </ul>		
評価	評価のポイント	評価対象	県内におけるボランティアの活動状況
		評価方法	森づくり参加延べ人数の達成状況で評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度末計画人数 : 6,000人</li> </ul> <p style="text-align: center;">平成23年度末の計画人数6,000人に対し、実績は6,920人と、達成した。</p> <p style="text-align: center;">達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成</p>		
事業名	とやまの森づくり総合情報システム事業	実施額	2千5百万円
事業目的	県民に森づくりに関する情報提供するため「とやまの森づくり総合情報システム」を整備する		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林GISの整備</li> <li>・ 「とやまの森づくりホームページ」の整備と公開</li> </ul>		
評価	評価のポイント	評価対象	森林GISデータの整備状況とその活用状況
		評価方法	森づくり事業の評価・改善に向け、県民への情報提供に、森林GISデータをどのように活用したかを評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「森林GISシステム」を整備し、森づくり事業地を地形図や航空写真上に表示することが可能となり、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用することが出来るようになった。</li> <li>・ 森林GISシステムを用いて作成した森づくり情報図等、水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を公開し、広く県民へ情報提供を行うことが出来るようになった。</li> </ul> <p style="text-align: center;">達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成</p>		

## 水と緑の森づくり事業評価（案）

事業名	とやまの森づくり普及啓発推進事業	実施額	3百万円
事業目的	森づくりに対する意識の高揚と森づくりに関する教育推進のための指導者を養成する 森林教室や出前講座として「森の寺子屋」を開催する		
事業実績	フォレストリーダー（指導者）養成数 62名 「森の寺子屋」開催実績 46回（対象人数延べ2,847名）		
評価	評価のポイント	評価対象	フォレストリーダーの養成状況 「森の寺子屋」の開催状況
		評価方法	フォレストリーダーの養成数で評価 「森の寺子屋」実施状況で評価
	計画養成者数30名に対し62名（受講64名）を養成し、事業目的を達成した。 児童・生徒をはじめ広く県民を対象として「森の寺子屋 出前講座・森林教室」を実施し（計画25回に 対し実績46回）、森づくりに関する理解を一層深めた。		
達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成			
事業名	県民による森づくり提案事業	実施額	9百万円
事業目的	県民全体でとやまの森づくりを推進するため、自ら企画実行する事業について、その活動を支援する		
事業実績	・ 県民実施事業 : 15件応募、15件実施  ・ アイデア提案事業 : 14件応募、うち5件につき事業に反映		
評価	評価のポイント	評価対象	県民実施事業の実行状況
		評価方法	提案事業を総合的に評価
	・ 延べ人数3,935名の参加があり、各団体とも趣向を凝らした事業の実施により、森林整備 や木材の利用など身をもって体験することで、森林の大切さや木の良さを身近に感じ、森づく りへの理解醸成につながった。  ・ アイデア提案については、県民意見を事業に反映することができた。		
達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成			

## 水と緑の森づくり事業評価（案）

事業名	県産材利用促進事業	実施額	3千4百万円
事業目的	県産材を使った木製品の設置や公共施設の内装木質化などによる県産材の普及啓発と水と緑の森づくり税活用のPRを行なう		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産材くつろ木事業                  県産材を使用したベンチデザインを募集、優秀作品3点を製造し、県内の公共施設等へ設置                  (ベンチデザイン応募数 111作品、ベンチ設置 160基)                  また、森づくりに賛同する県内企業からの協賛金による企業名入りのベンチを2基設置)</li> <li>・森の玉手箱プレゼント事業                  県内の保育園・幼稚園等に対して県産材を使った積み木セットを贈呈(各2セット 合計1,200セット)</li> <li>・県産材こどもの城事業                  4施設(3保育園・1幼稚園)に対して県産材を使った木製遊具を設置</li> <li>・森に親しむ学び舎づくり事業                  モデル校4校に対して、既存の学童用机の天板を県産材製のもの置き換え(1,084枚)</li> <li>・木の香るまちづくり事業                  県内2施設について、県産材を使用した内装材による木質化に対して支援</li> <li>・県有施設木質化事業                  山室交番及び女性相談センターの木造化において、県産材を使用</li> </ul>		
評価	評価の ポイント	評価対象	木製品設置施設等での県産材の評価
	評価方法	施設管理者等(先生、生徒含む)のアンケートにより評価	
	<p>各事業の利用者等に対してアンケート調査を行った結果、おおむね良好な意見が多く、県産材の良さをPRするという事業目的は達成した。</p> <p style="text-align: center;">* 各事業のアンケート結果については、別添資料のとおり</p>		
	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">達 成</span> ・ ほぼ達成 ・ 未達成		